

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture News

夏休みの自由研究に
役立つヒントも紹介！

テーマ展

戦時下に 生きた人々

今年で終戦から72年。当時のことを覚えている方も
だんだん少なくなっており、改めて戦時下に生きた
人々のくらしや、それをとりまく社会状況について紹介
します。



ヘイタイ双六(当館蔵)

期 間／7月15日(土)～9月3日(日)
場 所／文書展示室
観覧料／常設展観覧券が必要



テーマ展

久万高原町 発掘50年の足跡



上黒岩岩陰遺跡出土押型文土器(当館保管)



上黒岩岩陰遺跡出土石鏃(当館保管)

本展では、近年発掘成果の著しい“久万高原町”にスポットを当て、平成28年度に実施した当館保管の上黒岩岩陰遺跡出土遺物の整理・分析の成果と合わせて展示しています。

期 間／3月25日(土)～9月3日(日)
会 場／考古展示室
観覧料／常設展観覧券が必要

考古

かいじん 貝刃

昨年度、当館が保管する上黒岩岩陰・上黒岩第2岩陰遺跡出土の縄文土器や石器、動物の骨、貝類といった計 613 点の資料について、県内外の研究者と共同で再整理を行いました。今回はその中の1つ、「貝刃」について紹介します。

本資料は、シジミ類の右殻を素材としたものであり、一見、単なる貝殻のように見えますが、その腹縁をよく観察すると、ほぼ全面にわたって連続した細かな打ち欠きが認められ、ギザギザの刃のようになっています。この用途については、魚のウロコ落としや解体に使用されていたと考えられています。本資料は小型の部類になりますが、本遺跡では、このほかにもハマグリやオキシジミ、ヤマトシジミ製の貝刃5点が確認されており、それらは握りやすい大型の貝殻が選ばれ、殻頂部や腹縁部の一部が欠損していることから、積極的に用いられていたことがうかがえます。これらを使って、古の久万高原の清流で捕れたアユやアマゴ等を調理していたのでしょうか。

こうした貝刃は、縄文時代早期に登場して以降、全国各地の遺跡で広範囲に確認されています。県内でも愛南町平城貝塚や今治市江口貝塚といった海浜部の貝塚で出土していますが、それより以前、四国山間部に位置する上黒岩岩陰遺跡の縄文人たちも、海岸部の資源を入手できる状況下であり、貝を、食用以外の目的にも広く利用していたことがうかがえます。

(専門学芸員 兵頭 勲)



出土地:上黒岩岩陰遺跡(久万高原町)
年代:縄文時代早期
法量:長さ2.9cm、幅3.0cm、重量4.21g
所蔵:愛媛県教育委員会蔵/当館保管

本資料は、テーマ展「久万高原町発掘50年の足跡」(9月3日まで)で展示しています。

歴史

シャツの千人針

千人針は、戦時中女性が赤い糸で1人1針縫って、出征する男性に贈った弾よけのお守りです。腹巻きにするため横に長いものが一般的ですが、これはシャツの千人針です。シャツの前側には「必勝」、後ろ側には「日の丸」があしらわれています。特に興味深いのは、後ろ側に5銭玉と10銭玉が縫い付けられている点です。どのような意味があるのでしょうか？

5銭の1つ前は4銭、10銭の1つ前は9銭です。読み方を変えると、4銭は死線に、9銭は苦戦に通じることから、死線や苦戦を乗り越えて帰ってくる、帰ってきてほしいという願いが込められているのです。千人針は、女性が1人1針しか縫うことができませんでした。(寅年の女性は歳の数だけ縫うことができました)女性たちは、1針1針どんな思いで縫ったのでしょうか。5銭や10銭をどんな思いで縫い付けたのでしょうか。

戦争は男性だけのものではありません。子どもや女性も戦争の中にいたのです。72年目の夏、あらためて平和の尊さを考えたいと思います。

(専門学芸員 平井 誠)



年代:昭和12(1937)~20(1945)年頃
サイズ:60×40cm
所蔵:当館蔵

本資料は、テーマ展「戦時下に生きた人々」(9月3日まで)で展示しています。

トリックアート

大江戸物語

平成29年

7月15日(土) ▶ 9月3日(日)

場所/企画展示室

観覧料/大人(高校生以上)700円
小中学生・65歳以上350円

他にもお得な
常設・特別展共通券や
団体割引(20名以上)
もあります

人間の錯覚を利用することで不思議な感覚で楽しむ「トリックアート」。愛媛初開催となる「江戸」をテーマとした「和風」トリックアートの数々を紹介します。子どもから高齢者まで、見て、感じ、学んでいただける展覧会です。

錯覚を体験する



部屋に入るとなぜか
大きくなったり、
小さくなったり...

作品の前でポーズを決めて
写真を撮りパチリ!



写真を撮って楽しむ

れきはく☆おもしろ 写真作品展



あなたの演技力でユニークな写真を撮ってみよう!
特別展「トリックアート 大江戸物語」で撮ったおもしろ写真を募集します★
入賞者にはすてきな賞品をプレゼント!!
応募期間/7月15日(土)~9月3日(日)
場所/愛媛県歴史文化博物館 企画展示室
参加費/当日の特別展観覧券または共通観覧券が必要です。
応募方法/当館ホームページ「おもしろ写真作品展申込」より
お申込みください。



※申し込みはインターネットのみとなります。
詳細は博物館までお問い合わせください。

浮世絵摺りに挑戦!



江戸の大衆文化に触れてみよう★
浮世絵体験キットで浮世絵の重ね摺りを体験します。
日時/特別展会期中の土曜日
(夏休みイベント期間8/11~15はお休み)
13:00~15:00
場所/エントランスホール
参加費/特別展観覧券もしくは共通観覧券

れきはくお化け屋敷



夏のれきはく恒例のお化け屋敷第8弾!
今年も最高の恐怖があなたを待つ!

パート8

日時/7月22日(土)~9月3日(日)
平日 13:00~16:00
土・日・祝 10:00~12:00/13:00~16:00
夏休みイベント中 (8月11日~15日) 10:00~12:00/13:00~17:00

(受付時間は、終了時間の30分前までとさせていただきます)
※土日祝日、8/11~8/15は整理券配布有り。
午前の部は9:30、午後の部は12:30から整理券を配布させていただきます。
無くなり次第当日の受付を終了いたします。あらかじめご了承ください。

場所/こども歴史館
参加費/共通観覧券(当日券)が必要です。

れきはく こども夏まつり

金魚すくいやスーパーボールすくい、輪投げなどの夜店遊びが体験できるイベントだよ☆



日時/8月11日(金・祝)~8月15日(火)
①10:00~12:00 ②13:00~16:00
場所/エントランスホール



れきはくのおしあと

れきはくでは、5月3日(水・祝)から5月7日(日)にゴールデンウィークイベントを行いました。開催中の特別展「迷路絵本 香川元太郎のフシギな世界」も大盛況。5月3日、4日には作者の香川元太郎さんの講演会・サイン会を実施しました。スクリーンに映った迷路を解いたり、隠し絵を探したりする講演会で、積極的に参加する子ども達の姿が微笑ましかったです。そして、5日から7日にはテーマ展「よろいかぶと」を開催中の文書展示室にて、鎧の着付け体験を実施しました。室内は戦国武将になりきった子ども達で賑わいました。たくさんのおみなさまのご来館、誠にありがとうございました。



平成29年度 歴史文化講座 上期

歴史講座 13:30~15:00

- 講座番号② 夏休み自由研究応援講座①「村上海賊を調べよう」
 日 時:8月5日(土)
 講 師:土居 聡朋氏(愛媛県教育委員会生涯学習課専門学芸員)
 対 象:児童・生徒向 ※小学生は必ず保護者同伴
- 講座番号③ 夏休み自由研究応援講座②「戦争を調べよう」
 日 時:8月6日(日)
 講 師:平井 誠(当館専門学芸員)
 対 象:児童・生徒向 ※小学生は必ず保護者同伴

古文書講座 13:30~15:00

- 講座番号①「宇和島藩武家文書をよむ①」
 日 時:9月3日(日)
 講 師:安永 純子(当館専門学芸員)
- 講座番号②「宇和島藩武家文書をよむ②」
 日 時:9月24日(日)
 講 師:安永 純子(当館専門学芸員)

考古講座 13:30~15:00

- 講座番号②「久万高原町の考古学事情」
 日 時:7月22日(土)
 講 師:遠部 慎氏(久万高原町教育委員会学芸員)

体験講座

- 講座番号③「江戸時代のくらしに学ぶ 一 卯之町の町並み散策 一」
 日 時:7月16日(日) 9:30~12:00
 (定員:40名)
 講 師:泉 仁美氏(宇和先哲記念館職員)
 仙波 香菜子氏(宇和民具館職員)
 参加費:500円程度
 対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴
- 講座番号④「裂き織りでトートバックづくり」
 (定員:各回3名)
 日 時:①7月17日(月・祝)②8月11日(金・祝) 13:30~15:30
 講 師:宇都宮 美紀(当館専門学芸員)
 参加費:1,000円程度
 対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴
- 講座番号⑤ 史跡めぐり「江戸時代の古民家探検」
 (定員:25名)
 日 時:8月27日(日) 9:00~17:00
 講 師:大本 敬久(当館専門学芸員)
 参加費:4,500円程度
 対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴
- 講座番号⑥「アロマを使った手ごねせっけん」
 (定員:20名程度)
 日 時:9月10日(日) 13:30~15:00
 講 師:kanmi氏(公益社団法人日本アロマ環境協会認定 アロマセラピーインストラクター 香りの工房 香ん美)
 参加費:1,500円程度
 対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴



お問い合わせ
 企画普及グループ・歴史文化講座係
 TEL(0894)62-6222 FAX(0894)62-6161



希望する講座名・講座番号とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、開講日の1週間前(体験講座は2週間前)までにハガキなどでお申し込みください。
 ※定員に満たない場合は、申込締切後にも受付けます。応募者多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。参加費は、昼食代・講師謝金・施設観覧料等の実費です。

臨時休館のお知らせ

6月27日(火)・28日(水)

博物館では、年に1回、収蔵資料をかびや害虫から守るため、くん蒸(虫・菌の防除)を行っています。



夏休みは毎日開館しています!

7月19日(水)~8月31日(木)は
 休まずに開館しております。



ご利用案内

- 開館時間 9:00~17:30(入館は17:00まで)
 ※但し、8月11日(金・祝)~15日(火)は、9:00~18:30まで(入館は18:00まで)
- 休館日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)
- 観覧料

	区分	一般	
		一般	団体
常設展	大人(高校生以上)	510円	410円
	中学生以下	無料	無料
テーマ展	65歳以上	260円	210円
新常設展	観覧無料		

※特別展の観覧料はその都度定めます。
 ※団体は20名以上です。
 ご利用の際は、再度お確かめください。

展示スケジュール

2017.7-2018.3

年	月	展示内容	
2017	7	特別展 「トリックアート大江戸物語」 7月15日(土)~9月3日(日) ▶夏休みイベント「れきはくども夏まつり」8月11日(金・祝)~15日(火)	
	8		
	9	特別展 「高虎と嘉明-転換期の伊予と両雄-」 9月30日(土)~11月26日(日) ▶「開館記念イベント」11月12日(日)	
	10		
	11		
	12		
	2018	1	▶「新春イベント」平成30年1月2日(火)・3日(水)
		2	特別展 「四国遍路の世界遺産化に向けて 四国遍路と愛媛(仮)」 平成30年2月17日(土)~4月4日(水) ▶「おひなさまイベント」平成30年3月3日(土)・4日(日)
		3	

常設展

 えひめの歴史と文化

 新常設展

 和紙彫塑による弘法大師空海の世界

 密・空と海-内海清美展(後半章)

※行事や展示、日程などが、変更・中止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Museum Calendar 2017.7-9

7月							8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1		1	2	3	4	5						1	2	
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9	
9	10	11	12	13	14	15	12	13	14	15	16	17	10	11	12	13	14	15	16	
16	17	18	19	20	21	22	18	19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	22	23	
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	31	24	25	26	27	28	29	30		



愛媛県歴史文化博物館
 MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

管理運営・指定管理者 いよてつ総合企画

〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町 4-11-2 電話:0894-62-6222

【ホームページ】 <http://www.i-rekihaku.jp>

●発行日 平成29年6月12日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館